

阿部卓也と
一緒に次の時代をつくる
後援会入会申込書

〈お願い〉1世帯につき1枚でご記入ください。

フリガナ			
お名前			
ご住所	(〒 -)	市	区
年齢	才	性別	男・女
お電話	ご自宅		
	FAX		
メールアドレス	携帯		
	@		

ご家族(有権者の方)	お名前	続柄

New!  **こちらからもあべたく広域団(後援会)のご入会が可能となりました。**

ご入会ありがとうございました。

ご紹介者	
フリガナ	
お名前	

We are Make the Future. Inspire the Next.

FAXで送信される場合は
FAX053-582-1401までお願いいたします。

※阿部卓也後援会の活動以外には使用いたしません。

 <https://abetakuya.jp>  [abetakuya1016](https://abetakuya.jp)

〈後援会規約抜粋〉
本会は阿部卓也後援会と称し、阿部卓也の活動を支援することを目的とし、会費・寄付金等で運営する。

静岡県を独立させる。

こう言うとギョっとされます。
でもこれは「独立=自立の方法を考えてゆくこと」なので、
これからの政治家はかくあるべきだと私は考えます。

日本の歴史を紐解くと、天下の体制が変わる「回天」は必ず地方から攻め上がって成し遂げられてきました。都では自浄作用が出来る国が日本なのです。ゆえに、地方が **この国を地方から変える。** ら変えてゆくことが日本の未来を開く答えなのです。ゆえに私は、静岡県からこの国の歴史を変える。そして、次の時代をつくります。

日本は中央集権国家制を取り入れています。徴税権を大きく国が持ち、地方に分配する、というシステムです。でも、いまや日本国の借金は1255兆円。先進国でも最悪です。さらに地方に分配すべき地方交付税交付金を払わず、「臨時財政対策債」という名で地方自治体に「必ず返すから」と言って無理矢理借金させ、利子も払わせ、今や静岡県の臨財債残高は1兆2000億円。県の年間予算に匹敵します。こんな日本ではもはや破綻は目の前です。地方は自立の道を早急に探らねばなりません。

静岡県の潜在力は日本屈指です。工業生産力、農業生産力などはご承知のとおりですし、物流の大動脈に位置し、富士山、南アルプス、駿河湾、浜名湖、伊豆半島など豊かな自然や水産資源、林産資源にも恵まれ、移住したい県No1に輝くなど暮らしやすさも折り紙付きです。



ではこれから何をするか。

まずは挑戦することが評価される社会をつくること。挑戦は若者だけの特権ではありません。女性や高齢者のかたでも、障害をお持ちのかたでも、海外のかたでも、ここへくれば、挑戦ができる場所とチャンスが普通にある、挑戦することを「特別なこと」にしない、日常の中での取り組みにする。そんな社会をデザインします。

1
社会を
デザインする



新しいシゴトはなにも新技術開発だけではありません。日常に潜在している「社会課題」をビジネスにすると、新しいシゴトをつくり出す。たとえば、「公共交通」や「介護福祉」「子育て」日常のなかにこそみんながよろこぶビジネスの種がたくさんあります。

2
新しいシゴトを
つくる

気候変動による自然災害が多発しています。いままでは、構造物でひとやまちを守るという考え方(ハード面での考え方)が主流でしたが、地球が気候変動期にはいったと考えれば、これからは、知恵と経験と助け合いで守るという考え方(ソフト面での考え方)もミックスさせ、柔軟な対応でまちをつくり、自然と共生したSDGs(持続可能な)型社会環境をつくります。

3
ひととまちを
守る



「政治家はクリエイター(創造者)であれ。」
夢をもてる安心の暮らし地域からつくりだす。
そしてこの静岡県から日本の次の時代をつくる。
これこそが阿部卓也のシゴトです。

